



子どもへの季節性インフルエンザ予防接種費用の助成について

令和7年度予算で、1歳から就学前までの幼児を対象に季節性インフルエンザ予防接種費用の1回2千円の助成に係る予算を計上している。厚生労働省は13歳未満の子どもに2回接種を推奨しているが、2回で6千円から1万円ほどかかる。また、学級閉鎖による学習の遅れの弊害を考えると小中学生も助成の対象にすべきである。そこで、費用助成の増額と対象年齢の拡充を求めるがいかがか。



費用助成の増額や対象年齢の拡充は考えていない

費用助成については、想定接種費用を4千円とし、津市が実施している他の任意予防接種の費用助成の考え方や県内他市町の助成額などを参考に想定接種費用の5割に相当する額を助成額としており、増額は考えていない。また、小児の季節性インフルエンザは、一般社団法人日本感染症学会において5歳未満の者はインフルエンザワクチンの接種がぜひ必要との見解が示されていることや、国立感染症研究所が公表しているインフルエンザの年齢階層別報告数において、1歳から6歳までの間が増加傾向となっていることなども踏まえて、助成の対象は1歳以上の未就学児としている。

その他の質疑・質問

- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業
- 子育て世帯移住促進空き家活用助成事業
- 令和7年度施政方針について
- こども・子育て政策について
- 都市づくりについて
- 産後に安心して搾乳できる環境づくりについて
- シンボルマークの設置について

津市の公共施設等の「授乳室」へのシンボルマークや案内等の掲示を要望した

授乳室で搾乳ができることを示すシンボルマーク



出典：神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課



し尿処理事業に係る補助金における不公平の穴埋めは

し尿処理事業を行う15社のうち津環境整備事業協同組合に属する3社だけを対象として、市町村合併後20年にわたり7億円近くを交付してきた津市一般廃棄物（し尿）処理事業補助金により、15社の間に不公平が生じている。このことは、津市公正公平な市政の確保に関する条例をはじめとする各種法令および合併協定書に違反しているが、不公平の穴埋めはどうするのか。



ルールにより支払ったもので穴埋めするものではないと考える

当該補助金は、合併後約6億8,000万円の予算が計上され、それにより補助対象である津環境整備事業協同組合に属する3社とその他の12社の間に不均衡が生じている。合併以降、12社との協議を行っていないことについてはお詫び申し上げるが、当該補助金は、ルールにのっとって支払われてきており、穴埋めするものではない。また、意図的に不公平な取扱いを行ってきたものではなく、直ちに条例違反となるものではないと考える。なお、当該補助金は令和3年に不均衡を解消するために協議した結果、猶予・周知期間のため令和7年度まで交付することとしたものである。

その他の質疑・質問

- 内部統制室の業務概要について

津市一般廃棄物（し尿）処理事業補助金により事業者間に不公平が生じている

